



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 フジ日本精糖株式会社
 コード番号 2114 URL <http://www.fnsugar.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 船越 義和
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部本部長 (氏名) 福田 弘
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-3667-7811

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,992	2.1	599	△17.1	635	△23.1	405	△15.1
24年3月期第2四半期	9,782	△0.7	723	△23.2	825	△19.4	477	△30.2

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 365百万円 (△32.8%) 24年3月期第2四半期 543百万円 (△3.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	15.11	—
24年3月期第2四半期	17.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	18,948	13,242	69.0
24年3月期	18,601	12,934	69.5

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 13,076百万円 24年3月期 12,934百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	3.8	800	△21.9	900	△21.5	550	△13.6	20.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd. 、除外 1社 (社名)
(注)詳細は(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。詳細は(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	29,748,200 株	24年3月期	29,748,200 株
25年3月期2Q	2,862,085 株	24年3月期	3,005,585 株
25年3月期2Q	26,804,229 株	24年3月期2Q	26,750,758 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提になる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長期化するデフレ、円高に加え、欧州債務危機の影響に伴う世界経済の減速懸念などにより復興需要等を背景にした回復の動きに足踏み傾向がみられ、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、製品の安定供給を最重要課題として取り組みました。また、タイ国において、イヌリンを製造販売するための合弁会社を設立し、タイ工場建設などのプロジェクト推進に注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高9,992百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益599百万円（同17.1%減）、経常利益635百万円（同23.1%減）となり、特別損失として投資有価証券償還損5百万円など総額11百万円を計上した結果、四半期純利益は405百万円（同15.1%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は、次のとおりであります。

① 精糖事業

精糖事業の業績は、売上高6,587百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益645百万円（同15.6%減）となりました。売上高は、大手ユーザー向けの販売が順調に推移し、販売数量は前年同期比で増加したものの販売価格が下落した結果、減収となりました。損益面では、原料糖の仕入コストは減少したものの、エネルギーコストの上昇もあり、販売価格の下落を吸収しきれず減益となりました。

② 機能性素材事業

機能性素材事業の業績は、売上高3,101百万円（前年同期比9.0%増）、営業利益45百万円（同4.4%増）となりました。売上高は、機能性食品部門において、イヌリンを主原料とした大手食品ユーザーの脂肪代替商品が引き続き好調に推移したこと、連結子会社ユニテックフーズ(株)の主力商品であるゼラチン、ペクチン等の拡販効果により、前年同期比で増収となりました。損益面では、設備投資による減価償却費及び販促活動における費用等が増加したものの、売上増加により前年同期比で増益となりました。

③ 不動産事業

不動産事業の業績は、売上高303百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益262百万円（同1.3%減）となりました。小規模賃貸住宅の稼働率悪化により、前年同期比で若干ながら減収減益となりましたが、安定収益に貢献いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1.9%増加し、18,948百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

① 資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ1.7%増加し、8,344百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ2.0%増加し、10,604百万円となりました。これは主に有形固定資産「その他」に含まれる建設仮勘定の増加等によるものであります。

② 負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ5.4%増加し、3,889百万円となりました。これは主に短期借入金及び未払法人税等の増加等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ8.1%減少し、1,816百万円となりました。これは主に長期借入金の減少等によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2.4%増加し、13,242百万円となりました。これは主に四半期純利益計上による利益剰余金の増加、少数株主持分の計上等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ571百万円増加し、2,449百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、921百万円となり、前年同期に比べ513百万円(125.5%)増加いたしました。これは主にたな卸資産が増加から減少に転じたこと等によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、295百万円となり、前年同期に比べ8百万円(2.8%)減少いたしました。これは主に定期預金の払戻による収入等によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、56百万円となり、前年同期に比べ406百万円(87.7%)減少いたしました。これは主に短期借入金の増加、少数株主からの払込みによる収入等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は計画に対して好調に推移しましたが、海外原糖相場の動向など不透明な事業環境を勘案した結果、現時点では前回発表(平成24年4月27日)の通期連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、新たに設立したFuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項ありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、当該変更による、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,858,033	2,129,540
受取手形及び売掛金	1,975,956	1,848,390
有価証券	322,069	322,077
商品及び製品	1,595,762	1,667,804
仕掛品	152,386	191,852
原材料及び貯蔵品	1,279,084	1,003,940
その他	1,021,209	1,183,226
貸倒引当金	△2,504	△2,736
流動資産合計	8,201,997	8,344,095
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	700,228	706,433
機械装置及び運搬具(純額)	233,151	209,751
土地	2,048,834	2,048,834
その他(純額)	55,376	286,951
有形固定資産合計	3,037,592	3,251,970
無形固定資産		
のれん	901,776	847,782
その他	109,321	103,083
無形固定資産合計	1,011,097	950,866
投資その他の資産		
投資有価証券	4,111,053	4,113,284
関係会社長期貸付金	1,926,200	2,003,952
その他	383,290	354,518
貸倒引当金	△70,090	△70,203
投資その他の資産合計	6,350,453	6,401,551
固定資産合計	10,399,143	10,604,388
資産合計	18,601,140	18,948,484

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,305,513	1,156,044
短期借入金	1,421,859	1,540,711
未払法人税等	109,837	218,560
賞与引当金	110,502	114,879
役員賞与引当金	10,610	4,930
その他	731,837	854,622
流動負債合計	3,690,159	3,889,749
固定負債		
長期借入金	997,716	877,868
退職給付引当金	348,702	303,653
役員退職慰労引当金	147,221	151,369
資産除去債務	54,237	54,513
その他	428,987	428,629
固定負債合計	1,976,863	1,816,034
負債合計	5,667,023	5,705,783
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,524,305	2,530,171
利益剰余金	9,241,908	9,379,543
自己株式	△740,988	△705,681
株主資本合計	12,549,685	12,728,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	385,715	348,721
繰延ヘッジ損益	△1,283	—
為替換算調整勘定	—	△253
その他の包括利益累計額合計	384,431	348,468
少数株主持分	—	165,738
純資産合計	12,934,117	13,242,700
負債純資産合計	18,601,140	18,948,484

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	9,782,116	9,992,194
売上原価	7,491,752	7,746,404
売上総利益	2,290,364	2,245,790
販売費及び一般管理費	1,566,889	1,646,153
営業利益	723,475	599,636
営業外収益		
受取利息	24,947	24,230
受取配当金	24,185	27,621
持分法による投資利益	72,428	—
その他	10,480	10,886
営業外収益合計	132,043	62,738
営業外費用		
支払利息	18,169	14,518
匿名組合投資損失	6,970	750
持分法による投資損失	—	8,257
その他	4,385	3,668
営業外費用合計	29,526	27,194
経常利益	825,992	635,181
特別損失		
固定資産除却損	3,664	3,544
減損損失	9,125	—
投資有価証券償還損	—	5,455
投資有価証券評価損	75,295	2,638
その他	72	—
特別損失合計	88,158	11,637
税金等調整前四半期純利益	737,833	623,543
法人税、住民税及び事業税	225,104	211,003
法人税等調整額	35,693	11,875
法人税等合計	260,797	222,878
少数株主損益調整前四半期純利益	477,035	400,664
少数株主損失(△)	—	△4,395
四半期純利益	477,035	405,060

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	477,035	400,664
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64,925	△36,993
繰延ヘッジ損益	1,128	1,283
為替換算調整勘定	—	931
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△765
その他の包括利益合計	66,053	△35,543
四半期包括利益	543,089	365,121
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	543,089	369,097
少数株主に係る四半期包括利益	—	△3,976

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	737,833	623,543
減価償却費	65,950	81,141
のれん償却額	53,994	53,994
減損損失	9,125	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,599	4,376
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,680	△5,680
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△17,214	344
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△43,807	△45,048
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△326	4,148
受取利息及び受取配当金	△49,133	△51,852
支払利息	18,169	14,518
持分法による投資損益(△は益)	△72,428	8,257
投資有価証券評価損益(△は益)	75,295	2,638
投資有価証券償還損益(△は益)	—	5,455
固定資産除却損	3,664	3,544
売上債権の増減額(△は増加)	34,809	127,565
たな卸資産の増減額(△は増加)	△992,281	163,635
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△2,697	△4,413
仕入債務の増減額(△は減少)	657,746	△149,468
その他の流動負債の増減額(△は減少)	100,280	117,640
その他	6,992	18,887
小計	575,694	973,228
利息及び配当金の受取額	76,480	66,435
利息の支払額	△16,940	△14,727
法人税等の支払額	△226,381	△103,055
営業活動によるキャッシュ・フロー	408,852	921,881
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	300,000
有形固定資産の取得による支出	△86,005	△348,622
有形固定資産の売却による収入	45	—
無形固定資産の取得による支出	△21,650	△36,847
投資有価証券の取得による支出	△641	△115,119
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	32,544
長期貸付金の回収による収入	364,727	428,027
長期貸付けによる支出	△560,000	△546,852
その他	—	△8,187
投資活動によるキャッシュ・フロー	△303,524	△295,058
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	70,000	170,226
長期借入金の返済による支出	△203,182	△170,511
自己株式の取得による支出	△8,455	△442
自己株式の売却による収入	—	41,615
配当金の支払額	△321,231	△267,426
少数株主からの払込みによる収入	—	169,715
財務活動によるキャッシュ・フロー	△462,868	△56,822
現金及び現金同等物に係る換算差額	△854	1,515
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△358,395	571,515
現金及び現金同等物の期首残高	1,895,170	1,878,102
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,536,775	2,449,618

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成 23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖事業	機能性素材 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,631,270	2,844,440	306,406	9,782,116	—	9,782,116
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,756	310	555	7,622	△7,622	—
計	6,638,026	2,844,750	306,961	9,789,738	△7,622	9,782,116
セグメント利益	765,461	43,764	265,720	1,074,946	△351,471	723,475

(注) 1 セグメント利益の調整額351,471千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成 24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖事業	機能性素材 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,587,826	3,101,249	303,118	9,992,194	—	9,992,194
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,657	954	555	8,166	△8,166	—
計	6,594,484	3,102,203	303,673	10,000,361	△8,166	9,992,194
セグメント利益	645,681	45,689	262,139	953,510	△353,873	599,636

(注) 1 セグメント利益の調整額353,873千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。